



認知症に関する本



◇ 『気がつけば認知症介護の沼にいた。』

もしくは推し活ヲトメの極私的物語』

畑江 ちか子／著 古書みつけ

祖父の死をきっかけに、無縁だった介護業界へと飛び込んだ著者の泣き&笑いフン闘記。巻末で2040年問題にも触れています。

◇ 『これからも、リッキーといっしょ』

片川 優子／作 大管 雅晴／絵 講談社

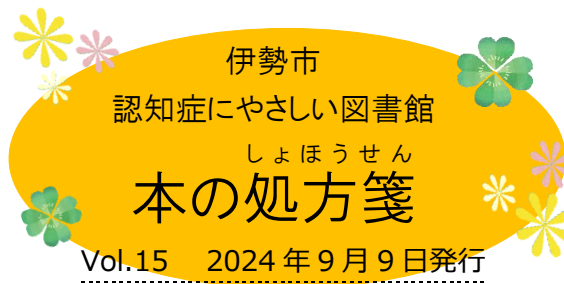
飼い犬のリッキーが、認知症になってしまった…。飼い主の少女はクラスメイト達も巻き込んで、リッキーのために自分ができることはなにか、けんめいに考えます。

◇ 『マンガでわかる！認知症の人が見ている世界①』

遠藤 英俊／監修 川畑 智／著

浅田 アーサー／漫画 文響社

認知症の人の不可解な言動にも、実は理由や意味があります。認知症ケアの第一人者が、認知症の人の心理や考え・感じ方を、マンガを交えて解説します。



※紹介している本は、伊勢図書館
または小俣図書館で貸出ができます。
貸出中の場合は予約ができます。

認知症に関する正しい知識とケア

◇ 『認知症の人、その本当の気持ち』

たつつん／著 KADOKAWA

介護歴18年の介護福祉士が、認知症の人の世界への寄りそい方を紹介します。認知症とはどういった病気なのか？その介護をするとはどういうことなのか？「わからない」から、一歩前へ踏み出しましょう。

◇ 『親の認知症に気づいたら読む本』

離れて暮らしていても大丈夫』

杉山 孝博／監修 主婦の友社／編
主婦の友社

親が認知症ではないか、と思ったらどうすればいい？上手に親を受診させるコツやすべきこと、関わりかたのポイントなどを紹介します。